

- 1 時期 令和5年2月下旬～3月下旬
- 2 参加者 24名(委員19名、事務局5名)

◇委員(敬称略)

○医療・保健関係

- 宮内 博史 《吾川郡医師会長》
- 山崎 冬樹 《高岡郡医師会副会長》
- 廣瀬 大祐 《高知市医師会副会長》
- 矢野 博彦 《仁淀歯科医師会長》
- 酒井 絵美 《高知県看護協会吾川・佐川支部長》
- 利岡 遼 《高知県薬剤師会高吾支部長》

○福祉関係

- 秋澤 徳久 《佐川町社会福祉協議会長》
- 西森 啓助 《中央西ブロック民生委員児童委員協議会長》
- 織田 ひとみ 《高知県介護支援専門員連絡協議会中央西ブロック世話人》

○行政関係

- 岡林 輝 《土佐市健康づくり課長》
- 中平 勝也 《土佐市長寿政策課長》
- 金子 剛 《いの町ほけん福祉課長》
- 谷脇 昭仁 《仁淀川町保健福祉課長》
- 岡崎 省治 《佐川町健康福祉課長》
- 國貞 満 《越知町保健福祉課長》
- 松本 直久 《日高村健康福祉課長》

○地域組織・団体・住民の代表

- 内田 知行 《日高村商工会事務局長》
- 坂本 貞雄 《佐川町よさこいクラブ連合会長》
- 加藤 良子 《中央西地区食生活改善推進協議会長》

◇事務局

○中央西福祉保健所

- 山本 倫嗣 《中央西福祉保健所長》
- 三木 幸美 《次長兼健康障害課長》
- 川村 尚美 《地域支援室長》
- 小野 邦桜 《衛生環境課長》
- 山下 政文 《地域連携担当于一フ》

各項目に対する意見及び回答の概要

1 新型コロナウイルス感染症への対応等について

委員:OB 保健師2~3名を雇用しても激務であったと思います。保健所も医療も介護も救急も災害級に大変でした。現場が担わざる得ないことで、後の業務ができなくなることは残念でした。(クラスター発生や濃厚接触での休み)

中央西福祉保健所:新型コロナウイルス感染症対応では、病床の確保や適切な療養の実施などにおいて、皆さま方の多大なるご支援とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

2 生活習慣病予防対策の推進

特に意見なし

3 高知版地域包括ケアシステム構築の推進

委員:仁淀川町のフレイル予防活動のすばらしさを、県下、全国に発進できるといいですね。

中央西福祉保健所:仁淀川町の活動を管内市町村に紹介するとともに、仁淀川町が養成したフレイルサポーターの活動を引き続き支援していきたいと考えております。

委員:ICT、ネットワークの普及、つまずいています。

委員:高知県@ライン事業は手段であって目的ではないので、医療介護連携のSNS ツールは、他に有用で簡便なツールがあればそちらを利用すれば良いと思います。

中央西福祉保健所:令和5年度「高知家@ラインシステム」の普及に関するニーズ調査として、居宅介護支援事業所及び病院・診療所を対象に、介護・医療の情報連携での困り事などをお聞きする予定で、その結果を踏まえ、今後の取組を進めていきます。ご協力よろしくお願いします。

委員:ACPIは関係者も必要だが、住民が自分ごととする啓発がより重要と思います。

心づもりをして老後に備えながら生きる、自助、共助の意識も高め、インフォーマルも活用して暮らす住民の意識が必要。

中央西福祉保健所:ACPの住民意識向上のため、今後も啓発に取り組んでいきます。

4 日々の暮らしを支える高知型福祉の推進

委員:あったかふれあいセンターは、高知県の宝だと思います。

中央西福祉保健所:あったかふれあいセンターが地域福祉の拠点として、地域ニーズの把握や課題に対応した支援の取組がより充実するよう、令和5年度も継続した支援を行います。

5 子どもの健やかな育ちへの取り組み

委員:イメージができて対策が考えられるので、そのような勉強会が大切と思います。

中央西福祉保健所:子育て世代包括支援センターの役割や活動について、周知を継続し、児童福祉との連携も含めた勉強会等の開催など、令和5年度は計画しています。

6 南海トラフ地震対策の強化の取り組み

特に意見なし